

会 議 録

[所管課 水谷公民館]

会議の名称	平成25年度第2回水谷地区公民館運営審議会会議録
開催日時	平成25年10月7日(木) 午後5時～7時00分
開催場所	水谷公民館・会議室
出席者	萩元不二夫委員 佐藤 和秀委員 是永 国彦委員 山本百合子委員 坂間 道夫館長 小俣 正巳主査 大日方清美主査 加治あゆみ主任
会議次第	あいさつ 水谷公民館館長 地区公運審代表萩元委員 議事＝協議事項 別紙のとおり
会議資料	別添のとおり。

会 議 内 容

議事

1. 連絡事項

- 施設利用アンケートについて
- 平成25年度水谷公民館上半期事務事業報告について
館長・事業担当者より説明を行う。

2. 協議事項

(1) 施設利用アンケート結果の総括について

委員：時間で区切る案もでていますが、水谷公民館は、現状のままでよいと思う。

委員：12時～13時、17時～18時は入れ替えのクッション的な時間。60代・70代の方の利用が多いので、時間ごとに利用を区切ると、急がされる気がする。時間をゆっくり使いたいと思う利用者が多いのではないか。

委員：インターネットで空き情報が見られると、とても便利。

職員：公共施設予約システムについては、平成27年度中の導入に向けて現在準備中だが、公民館と交流センターなど、同じように考えられない部分もあり、かなり調整が必要な感じになっている。市内の施設一斉にスタートするのではなく、時期をずらして進めていく方向で、現段階では決まっている。

(2) 水谷公民館井戸端会議について

委員：前回の会議であった「公民館を中心とした社会教育活性化支援プログラム」がなくなってしまったのが、非常に残念。地域が求めているものがみえてくるきっかけになるのではと期待をした。

職員：文科省にも数回資料を提出し、今年中にスタートできる予定だった。やる場合、かなりハードスケジュールではあったが、確かに地域が大切にしている文化を見直すにはとてもよい機会だと職員も認識していたため、残念。市長部局が進めているまちづくり協議会と混同する恐れがあるのでは・・・という部分が、中止になった理由のようだ。

委員：確かに、水谷の地域は斜面林や湧水、お囃子などたくさんいいものがある。

委員：答申を読み返すが、とても内容が難しい。頑張って理解をしようと思うが、「まちづくり」と「公民館支援型」という言葉の違いが、本当に難しい。

委員：水谷はとても穏やかなところだから、地域の問題点というのが、見えにくいというのが実情。文化祭などもあることから、様子をうかがってみたい。